

前田裕佳 ピアノリサイタル

# スペクトル

フランスの伝統と革新、そして現在

la tradition, l'innovation et le présent français

## ◆共通プログラム—

- ・ F. クープラン：《クラヴサン組曲 第1オールド》「サラバンド荘重」(1713)
- ・ P. ルルー：《RÉPÉTER...OPPOSER》(2018)
- ・ C. ドビュッシー：《12の練習曲》より「対比的な響きのための」(1915)
- ・ C. ヴィヴィエ：《PIANOFORTE》(1975)
- ・ J.-H. ダングルベル：《クラヴサン曲集 組曲ト長調》「プレリュード・ノン・ムジュレ」(1689)
- ・ M. リンドベルイ：《Piano Jubilees》より 第1、第5番 (2000)
- ・ J.-Ph. ラモー：《クラヴサン曲集 第1集 組曲 イ短調》より「プレリュード」(1706)
- ・ T. ミュライユ：《Cailloux dans l'eau》(2018)
- ・ C. ドビュッシー：《映像第1集》(1905) より「水の反映」

## ●大阪公演のみ—

- ・ J. ハーヴェイ：《ff》(1995)
- ・ C. ドビュッシー：《映像第1集》(1905) より「ラモーを讃えて」
- ・ P. ルルー：《Impressions d'Enfance》(2015)
- ・ E.-C. ジャケ・ド・ラ・ゲール《クラヴサン組曲 イ短調》より「プレリュード」(1687)

## ●東京公演のみ—

- ・ J. ハーヴェイ：《Haiku》(1997)
- ・ C. ドビュッシー：《前奏曲集 第1巻》より「パルクの踊り」(1910)
- ・ P. ルルー：《DENSE...ENGLOUTI》(2011)
- ・ J.C. de シャンボニエール：《クラヴサン組曲 第1集ト短調》より「パヴァーヌ 神々の対話」(1670)

\*内容は、やむを得ない事情により変更することがあります。ご了承ください。

2021年

5/9 日 14:00 開演  
(13:30 開場)

あいおいニッセイ同和損保  
ザ・フェニックスホール

大阪市北区西天満 4-15-10 梅田新道交差点・東南角  
あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー内

【全席指定】

5/26 水 19:00 開演  
(18:30 開場)

ムジカーザ  
MUSICASA

東京都渋谷区西原 3-33-1  
【自由席】

①会場席チケット …… 前売り・当日とも 一般：3,000円 / 学生：1,000円 /  
(大阪公演のみ) ザ・フェニックスホール友の会価格：2,700円

②「ツイキャスト」での配信 …… 1,500円 事前登録およびログイン・視聴は右記 QR コードから  
※東京公演のみ <https://twitcasting.tv/c/liveconnection/shopcart/58060>  
(視聴・購入は6/9(水)まで) ※配信用の視聴端末およびインターネット環境をご準備ください。



ツイキャスト配信詳細

## ◆チケット取扱・お問い合わせ

- ・ YUKA MAEDA RECITAL DE PIANO: E-mail [yukamaeda.recital@gmail.com](mailto:yukamaeda.recital@gmail.com)
- ・ (大阪公演のみ) ザ・フェニックスホールチケットセンター Tel. 06-6363-7999 (土・日・祝を除く平日10~17時)

□主催：YUKA MAEDA RECITAL DE PIANO

□協賛：あいおいニッセイ同和損保、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール (大阪公演)

□後援：神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 人間発達専攻 表現系講座 / 東京藝術大学 音楽学部 同声会

□助成：公益財団法人 NOMURA 野村財団

design: #takuyawatari

# スペクトル スペクタクル

SPECTRE SPECTACLE

前田裕佳 ピアノリサイタル

## フランスの伝統と革新、そして現在

フランスを中心とした 1970 年代から現在に至るまでの、倍音列を解析し合成することによって創作される「スペクトル楽派」と分類される作品群は、突如として現れたものではない。既に 20 世紀初頭の革新的な C. ドビュッシーの作品には、スペクトル楽派の萌芽的書法とされる倍音列を使用した音組織が含まれていた。さらに遡れば、18 世紀初頭に J.-Ph. ラモーは、自然倍音列を基とした音響が、和声理論の根拠であるということを示唆していた。

本公演はフランスの伝統、革新そして現在をテーマに諸作曲家の作品群を取り上げ、それらの音高構成の変遷を探りつつ、スペクトル音響という観点から フランス音楽の普遍性 に迫りたい。音響体から生まれる時空を超えた一大スペクタクルをお楽しみ頂けたら幸いである。

la tradition,  
l'innovation,  
et le présent français

### 前田裕佳 MAEDA Yuka ピアノ



神戸大学発達科学部 人間行動表現学科 音楽表現論卒業。同大学院修了。パリ・エコールノルマル音楽院（ピアノ科）にて、ディプロムを授与される。東京藝術大学大学院博士後期課程（音楽音響創造）在籍中。演奏活動は多岐に渡り、第 20 回テグ国際現代音楽祭に招かれ自作曲を発表、日本調律師協会主催「リクエストコンサート」、NHK 学園（西宮）での「おフランスの香り～印象派以降の音と色～」講座、リサイタル「メロディとソノリテ（響き）の交錯／フランスと日本のレフレクシオン（反響）」、日本建築協会 U-35 委員会主催コンサート「建築とリズム」等出演。2017 年度フェニックス・エボリューションシリーズに入選し、リサイタル「近現代フランスのエスキス・エスパス・エスプリ」を開催。また、兵庫県合唱連盟主催のコンサートや大学合唱団や一般合唱団の伴奏も意欲的に行う。ピアノを、佐野彰子 女史、Odile Delangle 女史に、室内楽を Nina Patarcec 女史に、作曲と音楽理論を田村文生氏に、指揮法を齊田好男氏に師事。神戸大学、梅花女子大学、神戸市シルバーカレッジ各講師。

会場アクセス



※お車での会場はご遠慮ください。

